

# ● パパの子育て、まずはベビーダンスから！ ●

## 今、パパの育児への参加が求められています

昔は同居のおじいちゃん・おばあちゃんや親戚、地域の人々がみんなで子どもたちを見守り、育てていました。しかし、現在では社会構造や生活パターンの変化からそんな育児モデルもなくなりつつあります。そんな中で、子どもとかかわる時間の多いママたちは、子育てについて相談できる相手も身近におらず、子育てへの不安やとまどいを感じています。今、子育てには、パパの力が必要なのです！

## パパが子育てに関わることの大切さ

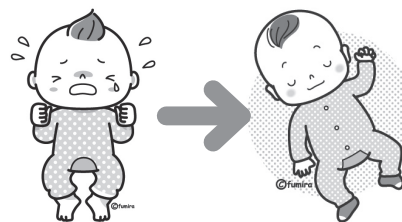
パパが子育てをすることで、ママは身体も気持ちも楽になります。二人で赤ちゃんを育てていると感じることは、安心感や子育ての意欲にもつながります。また、パパが赤ちゃんとの時間を増やすことで、赤ちゃんはパパを信頼するようになり、赤ちゃんとのつながりを感じるようになるでしょう。

赤ちゃん自身にも良い影響がたくさんあります。親を通して世界を広げていく赤ちゃんは、パパとママをモデルにしながら成長していきます。小さいころから育んだ親との結びつきは、思春期に真価を発揮するでしょう。

## パパの子育てにベビーダンスを

子育ての時間が少ないパパが赤ちゃんをあやしても、赤ちゃんはなかなか泣きやんでくれないかもしれません。そんな時に“ベビーダンス”が役立ちます。赤ちゃんを抱っこして、親子で音楽に合わせてステップを踏めば、いつしか赤ちゃんもウツトリ、スヤスヤ……。

“ベビーダンスサンバ”はラテンの心地よい上下動がビックリするほど赤ちゃんの眠りを誘います。3拍子の“ベビーダンスワルツ”は優雅な癒し系。また、4拍子でスマートな“ベビーダンスブルース”はスイングが気持ちいいダンスです。簡単かつ運動生理学に基づいているので、パパのエクササイズにも最適。もちろんダンス経験は不要です。



## パパの子育て、まずはベビーダンスからはじめてみませんか？

ベビーダンスで  
パパが自信をもって  
子どもをあやしたり  
寝かしつけたり  
できるようになる！



ベビーダンスで  
ママの育児が楽になり、  
パパに目を向ける心の  
余裕もできて家族が  
ハッピー！



ベビーダンスの  
ステップを覚えたら  
夫婦で踊れるから、  
二人の気持ちがり  
フレッシュ！



Japan Baby Dance Association

一般社団法人 日本ベビーダンス協会

☎ 107-0061

東京都港区北青山 2-7-26 フジビル 28 2F

☎ 03-5785-6939

検索

日本ベビーダンス協会

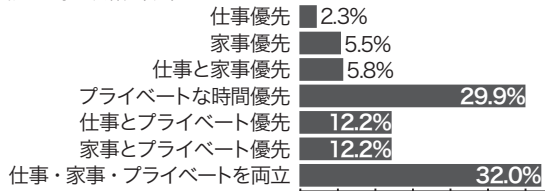


# 目指せイクメン！ データで見る「パパの子育て」

## 仕事か育児か？理想と現実

### ◆ワーク・ライフ・バランスへの希望

調査対象：既婚有業男性

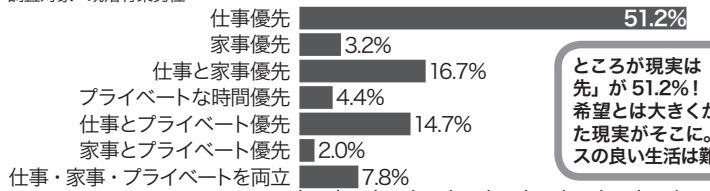


「仕事優先」が2.3%に対し、「仕事・家事・プライベートを両立」が32%！ホントはバランス良く生活したいのだが……

資料：男女共同参画会議少子化と男女共同参画に関する専門調査会「少子化と男女共同参画に関する意識調査（男女の働き方とワークライフ・バランス）」（平成18年）

### ◆ワーク・ライフ・バランスの現実

調査対象：既婚有業男性



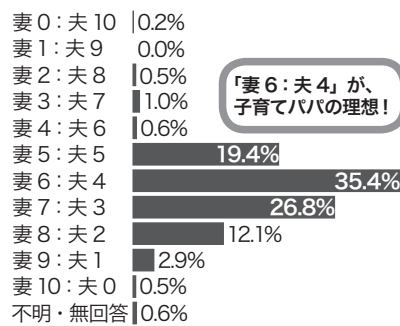
ところが現実には「仕事優先」が51.2%！希望とは大きくかけ離れた現実がそこに。バランスの良い生活は難しい。

資料：男女共同参画会議少子化と男女共同参画に関する専門調査会「少子化と男女共同参画に関する意識調査（男女の働き方とワークライフ・バランス）」（平成18年）

## パパとママの理想と現実

### ◆子育ての役割分担の理想

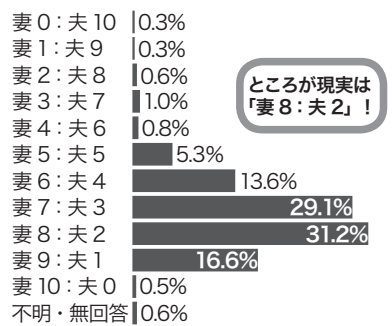
調査対象：子育て層の男性



「妻6：夫4」が、子育てパパの理想！

### ◆子育ての役割分担の現実

調査対象：子育て層の男性

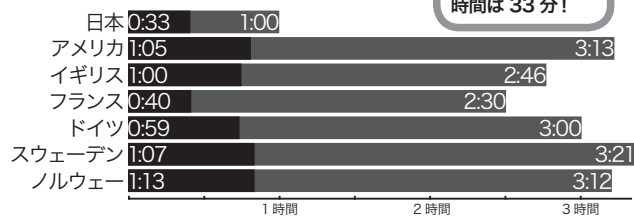


ところが現実には「妻8：夫2」！

資料：財団法人こども未来財団「平成15年度子育てに関する意識調査」

### ◆育児時間の国際比較

調査対象：6歳未満育児をもつ男性の家事・育児時間



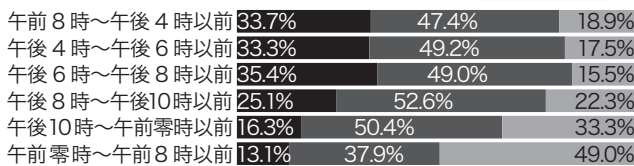
日本のパパの育児時間は33分！

資料：総務省「社会生活基本調査」（平成18年）

■ うち育児 ■ 家事関連時間全体

### ◆パパと一緒に子育てしていると感じるか

問い：母親から見てパートナー（夫）の帰宅時間別にパートナーと「一緒に子育てしている」と感じるか？



帰宅時間が遅いほど感じられない！

資料：財団法人こども未来財団「平成18年度子育てに関する意識調査」

■ 充分 ■ それなりに ■ あまり

育てる男が、家族を変える。社会が動く。

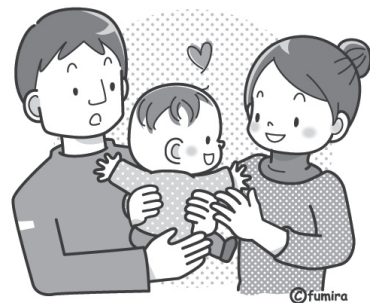


「イクメン」とは……  
育児を楽しむ男性。  
育児を積極的に行う男性のこと。

2009年、男性も子育てしやすい社会の実現に向けて育児・介護休業法が改正されました。「パパ・ママ育休プラス」制度の導入等をはじめとする新制度が2010年6月30日に施行、男性が育児休業を取得しやすい環境づくりへと大きな一歩を踏み出しています。

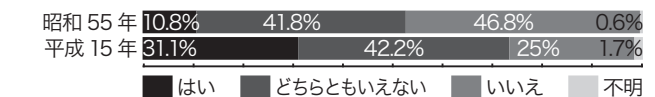
これを背景に厚生労働省による「イクメンプロジェクト」(http://www.ikumen-project.jp/)は、このような制度見直しと合わせ、社会全体で、男性がもっと積極的に育児に関わることができる一大ムーブメントを巻き起こすべく、2010年6月に発足しました。プロジェクトの内容・実施方法などについて協議するため、各分野の有識者等で構成される推進チームを設置し、育児を楽しんでいる・これから楽しみたいイクメンの皆さん、ご家族や企業・自治体等イクメンサポーターの皆さんとともに、時代を牽引していきます。

日本ベビーダンス協会もイクメン団体サポーターとして登録。パパたちの子育ての一助となる「パパにもベビーダンス」を推進しています。



### ◆子育てにおけるママの精神的ストレス

問い：育児でイライラすることは多いですか？（1歳児半検診時）



資料：大阪レポート（昭和55年）・兵庫レポート（平成15年）

現代では23年前の調査よりも約3倍も多い31.1%のママが育児にストレスを感じている！

ママは  
パパの助けを  
待ってます

今、「育児ノイローゼだと感じたことがある」というママは49.1%という調査結果があります。楽しいけれど大変な育児。一人で悩むママも多く、パパの助けを切実に必要としています。子育ての上手下手に性別は関係ありません。パパの理解や協力が育児ノイローゼを和らげます。言うなれば、イクメンパパは救世主なのです。ベビーダンスは寝かしつけなどに有効だけでなく、赤ちゃんとのスキンシップで愛情を深めます。また、ベビーダンスレッスンで行う、手遊び歌やマッサージもパパがすぐに使える育児テクニクです。

一般社団法人 日本ベビーダンス協会

